

**間伐材を有効活用している
合板は環境保全に
貢献しています。**

合板の製造技術を改良して、林地残材やそのままでは製品として使用できない間伐材や細い木や曲がった木を合板に有効活用しています。

また、合板業界は地球環境の保全のため南洋材等の外材から、間伐材等の国産材への原料転換を積極的に進めています。



技術改良によりむき芯径を30mmまで最小化しました。

**国産材の木製品を積極的に利用して、
みんなで森林を育てましょう。
それが地球環境の保護につながります。**

東京合板工業組合
東北合板工業組合

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-21-2
TEL. 03(5214)3636 FAX. 03(5214)3660
<http://www.ply-wood.net/> E-mail: info@ply-wood.net

もっとくわしく知りたい方は、木材・合板博物館に是非お越しください。

ごうはん
木材・合板博物館

〒136-8405
東京都江東区新木場一丁目7番22号新木場タワー3階/4階
TEL: 03-3521-6600
入場料: 無料
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.woodmuseum.jp>



環境保全に貢献する 国産材合板

国産材を使って森林を
元気にしよう



日本は国土の約7割が森林です。

日本は国土面積の約68.5%を森林で占める、世界で有数の森林国です。

資源の乏しい国とされていますが、豊かな森林資源に恵まれ、

森林から生産される木を上手に使う文化を持っています。



成長した森林を 活かす時代です。

森林は、石油や石炭などの化石資源とは異なり、伐採してもその後植林して適切に管理すれば持続可能です。

木材を生産し収穫する目的で植林された人工林は、人の手で良好な生育環境を維持し続けることが必要です。

今日の日本の人工林の多くは収穫期を迎えています。この成長した人工林に間伐や枝打ち、植林などの手入れをして、木材を活かす時代なのです。



森林の手入れをして 森を元気にしよう。

森林の約4割を占めるスギやヒノキなどの人工林の中には、手入れが行き届いていないものがあります。

苗木を植えてから15～20年位経ち、木々が成長してくると、林の中が混み合ってきます。そのまま放置すると木々が密集し太陽の光が森の隅々まで届かず暗く荒れてしまいます。このような森は水を蓄えて土を保つという森林本来の力が衰え、土砂崩れや洪水の原因にもなります。それを防ぐために間伐を行います。

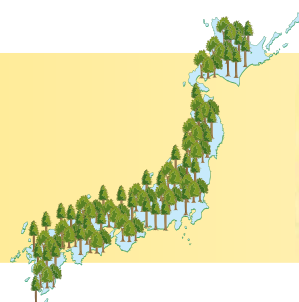
間伐は木々の密度を調整することで、木々どうしの競争を緩和させ、残された木を健全に育てるための必要不可欠な作業です。



手入れされた森林



手入れされていない森林

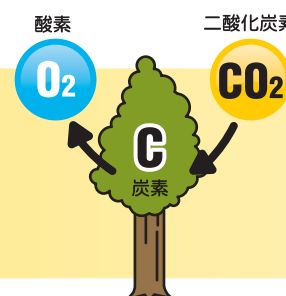


国産材を使って 林業を活性化させよう。

林業の低迷は森林を荒廃させる原因になります。

林業を活性化させるには、わたしたちが国産材の木製品をどんどん利用し、森林を育てる資金を集め、その資金が山に還元される、「植える→育てる→収穫する→上手に使う」という森林の循環をつくる必要があります。

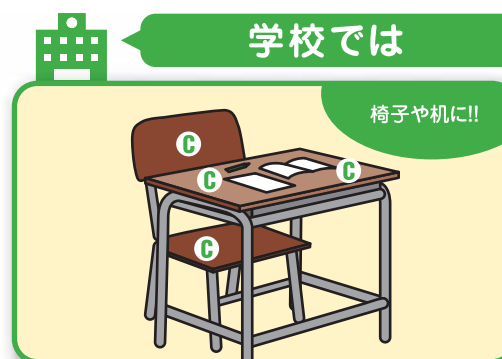
この循環によって森林が整備されることにより、大気中の二酸化炭素をたっぷりと吸収・固定して、きれいな酸素を生み出す健康な森林が育ち、地球温暖化防止にもつながります。



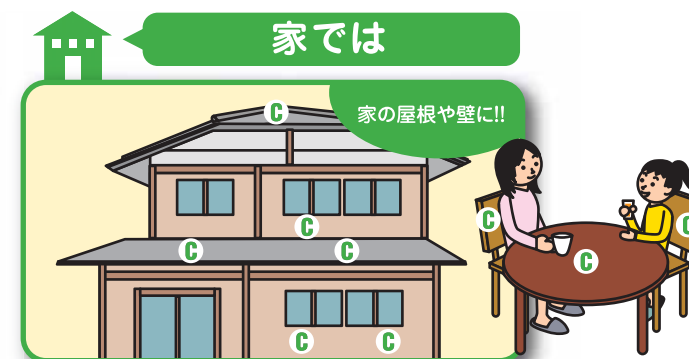
木製品は炭素を蓄えて 地球温暖化を防止します。

森林は大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素として固定します。それは木材として板や柱、家具などになっても、炭素を閉じ込めたままです。しかも木材は鉄鋼やアルミニウムなどに比べて製造加工時の電力や石油などの消費量が大幅に少なくてすみます。

したがって、木製品を使用することは二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化の防止につながります。



身近な木製品の中に炭素はストックされています。



C=炭素